



 **緑の園** 6月号

ヒルトップハイツ

グリーンプラザ

デイサービスセンター

だより

第48号

令和 2年6月1日発行





今は、きよりをとって/北海道ソーシャルディスタンス



面会制限を延長させていただきます。

2月下旬から特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツならびに地域密着型特別養護老人ホームグリーンプラザ、および養護老人ホーム緑の園の3施設におきまして**面会制限**を実施しており



ますが、このことにより関係各位には多大なご迷惑をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。

さて、4月16日に北海道においては「特定警戒都道府県」として指定されましたが5月25日に解除されました。

しかしながら今回の緊急事態宣言の解除は「安全宣言」ではありません。

新たな感染者が確認されている状況に変わりはなく引き続き感染症の予防に関する措置を講じていくことに変化はありません。

当法人におきましても暫くの間「面会制限」の措置は継続させていただきたく存じます。



感染を予防するために「新しい生活様式」の実

践への取り組みが北海道はもと日本全体で求められている状況をふまえ、今後の施設運営に関しても様々な部分で進めなければとは考えています。



いずれにしても長期にわたる施設の閉鎖は私たち職員にとってもつらい状況であり、そして何よりご利用者様とご家族各位には心から申し訳なく思っております。

日々模索するばかりの毎日ではございますが今できることをふまえて、今後少しずつではありますが進めていきたいと思っておりますのでご理解ご協力の程お願い申し上げます。



第1回理事会を開催いたしました。

先月の29日(金)書面決議でありましたが丸瀬布社会福祉協会 第1回理事会において令和元年度の決算、補正予算等のご審議をいただき原案通りご承認いただきました。

感染予防のための措置として今回の理事会は書面での議決となりました。



おかあさんありがとう! カーネーションの プレゼント



先月の第2日曜日
(10日)は、「母の
日」でした。

養護老人ホーム緑
の園では31人、地
域密着型特別養護老

人ホームグリーンプラザでは16人のお母さん一人ひとりにカーネーションの花をプレゼントさせていただきました。

グリーンプラザのお母さんに何人のお子さを産んだのか質問したところ一番多い人は「5人」でした。

おかげさまでグリーンプラザの16人のお母さんと緑の園の31人のお母さん皆さんお元気です。

来年も元気で母の日をお迎えいただけることを心からお祈りいたします。



さくらを見てきました。(車の中からです)

グリーンプラザでは11日と12日、緑の園では9日、11日そして12日に丸瀬布地区の桜を車の中からですが鑑賞して参りました。



新型コロナウイルス感染症対策のため外出もままならない日が続いていますが、そんなことなどお構いなしに季節はいつもの年のように進んでいます。



今年の桜は連休中に寒気が入ったことにより思っていた時期から少し遅れましたが見事に咲いておりました。(終わり)

「行動変容」のその先には 何があるのでしょうか…。

今回日本全国に発令された緊急事態宣言は1か月余りで何とか解除にはなりましたが、今までの生活様式は「行動変容」という言葉とともに「新しい日常」へとその姿を変えようとしています。

今から10年余りまえ、新型インフルエンザが流行した時のことを覚えておられる方も多いと思います。



その時にも「行動変容」が社会には必要であることが言われていましたが今回も同じ言葉で語られています。

再生産係数とか、感染のピークを遅らせる、流行の規模を小さくする、そしてなだらかなピークにすることにより医療・社会機能の破綻を防ぐ等々目新しいと言葉だと思っていましてもうすでに10年前に目にしておりました。

あの時も社会は「大きく変わる」とまで言われていましたが今回も同じことが叫ばれています。

前回と今回が違うのは感染することによって命に関わってしまうリスクの大きさです。

今回は「不安」が大きい分「自粛警察」という過剰なほどの正義感に伴った行動になって現れていることもその影響なのかもしれません。

そんなことで最近是不寛容な社会といえますか社会の許容量が今までより少し減ってしまったように感じます。

ほんと、不安な毎日ばかり続きますよね、ただただ終息する日を待つだけです。

今月もよろしくです。(おばら)

